令和８年度　２年生　進路セミナー　（瑞陵総合大学）

令和８年 11 月 11 日（水）実施

＊各講座のテーマと受講した生徒の感想

１　人文学　　立命館大学　　教授　馬場多聞先生



「イブン・バットゥータと14世紀の世界」

「書を捨てず、町へ出よう」自分の学んだことがいつか巡り巡って将来に繋がったり、自分のしたことが昔自分が学んだことに繋がったとき、自分が学んだことが人生を彩っていると感じられると思いました。イブン・バットゥータのような行動力や精神力があると人生楽しそうだなと思いました。美人のお話が印象に残りました。貴重な講演をありがとうございました。

２　経済学　　同志社大学　　教授　八木匡先生



「行動経済学入門」

行動経済学においての心理的バイアスを４つの代表的な例とともに説明してくださったのがとても分かりやすく、身近に経済学を感じることができました。日常の中に潜む学問であることを実感し、大学でもっと深く学びたいなと思いました。

３　法学　　中央大学　　教授　井川志郎先生



「アルバイトを素材に《法学》を体験してみよう！」

法学について、どのような学問なのかお話をいただくことができました。漠然と「自分に向いてそう」くらいしか考えていなかったのですが、先生のお話を聞いて、法解釈や立法論が本当に面白そうで、しっかり学んでみたいなと思いました。法学部で学ぶことができたら、そこで身につけた力はきっとこれからずっと自分を守る意味でも他人の役に立つ意味でも非常に大きな力になるだろうなと思いました。

４　教育学　　愛知教育大学　　講師　埜嵜志保先生



「授業における教師・教材・子どものコミュニケーション」

AI が普及している今学校での教育の意味についてはっきり答えられる自信がなかったけど社会化や個性化の話から学校教育の大切さを学ぶことができました。授業で他者との違いを受け入れることだけでなく、受け入れられるということが起こるというのが今までにない視点でおもしろかったです。いろはにほのゲームや海の命の具体例がわかりやすかったです。この講演を通して教育学への興味がさらに深まりました。本日は素敵な講義をありがとうございました！！

５　国際関係学　関西学院大学　教授　岡村昭夫先生



「国際関係論（開発途上国の開発と課題）」

ナイジェリアとベトナムが面している具体的な問題について知ることができ、今までの漠然とした考えを見直すきっかけになりました。今ある問題ばかりに目を向けて悲観的になるのではなく、これまで乗り越えてきたことから希望をもつことも大切だとわかりました。ご講演ありがとうございました。

６　薬学　名古屋市立大学　教授　牧野利明先生



「現代における薬用植物の利用」

私たちが効果があると思って飲んでいるくすりも実は効果がなく騙されていることが普通にあるとわかり、驚きました。これからは日本薬局方という文字が書いてある医薬品を選び信頼できるものを使いたいと思いました。本日は素敵なご講演ありがとうございました。

７　保健学　名古屋市立大学　教授　山邉素子先生



「看護ってなぁ～に？」

看護師はただ患者の病気を治すために働くのではなく、患者に寄り添ってあげるということの大切さを改めて理解できました。私も世界に興味があるのでこれからの国際化した社会でも活躍できるよう世界も見据えながらまずは今できる勉強を頑張りたいなと思いました。貴重なお話ありがとうございました。

８　理学　　名古屋市立大学　教授　河田成人先生



「ユークリッドからのプレゼント」

ご講演ありがとうございました。数学とはただ単に与えられた公式をつかい問題を解くのだけでなく、なぜそのような公式になるのか、またより良いものに発展させていくのにはどのようなことをすればいいのかを考える学問であると実感しました。理学では機械的に計算をするのではなく、自分たちで考える力が大切だと思いました。ご講演を受けて「理学」という分野は物事の本質を学べるすばらしい学問だと思いました。

９　工学　　岐阜大学　　教授　屋代如月先生



「ミクロの世界で変形予測」

一番印象に残ったのは「すぐに役立つものはすぐに役に立たなくなる」という言葉です。機械工学は力学になくてはならない存在のため、すぐに役に立つものではなく長期的に支える縁の下の力持ちのような役割であると感じました。本日は貴重なお時間をありがとうございました。

10　農学　　名古屋大学　　教授　辻寛之先生



「花と緑もたらす仕組み−フロリゲンがひらく未来の農学−」

「研究」と聞くと、どうしても始めるきっかけを探す難しさに目がいってしまっていましたが、「花咲か爺さんの灰」のように、身近にある素朴なことを解決することの面白さに気づけました。

11　栄養学　　椙山女学園大学　講師　山田紀子先生



「未来の自分をつくる食事と健康―ライフステージごとに変化する体―」

それぞれのライフステージの特徴や、必要となる食事、運動について、しっかりと理解をすることができました。ご講義がとても聞き取りやすく、また、具体的な例やユーモアあふれる例が沢山で、とても分かりかったです。教えてくださった、更年期障害を持つ方への食事のサポートを実践してみようと思います。ありがとうございました。

12　情報学　　名古屋大学　准教授　鈴木泰博先生



「見えない感覚を科学する～触覚情報学へのいざない～」

人間の五感で感じている触覚を触質という形で数値で表すことでこんなにも多くのことを数値化できるとは驚きでした。特にメディアを音にしても効果があるのはとても興味深かったです。貴重な体験ありがとうございました。

学校別説明会



大学・専門学校の方をお招きし、食物科の希望生徒に学校別説明会を実施しました。